

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 2月26日

事業所名：音楽療育支援教室 どれみの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	事務室のスペースを狭くし、読書のスペースを作るなど工夫した。子供達の声を聞き、ゆったり過ごせる読書の部屋を作った。	部屋を有効活用したり、コーナー別に分けるなど工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	その日の利用人数に合わせ配置を行っている。	急な人員不足にも法人内事業所と連携して対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	各フロアに段差は無い。	段差をなくし、伸び伸びとかつどうできるようにしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	フィードバックを毎日行い、次回への支援方法を共通理解している。	療育活動後に一人一人についてのフィードバックを行い、支援の仕方や原因、計画の追求をしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	アンケートを行っている。	アンケート結果を真摯に受け止め、業務改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	ホームページやInstagramで公開している。	今後も評価結果を随時公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	毎月事業所のPDCAを評価してもらい、改善につなげている。	外部からの評価を受け、良い療育計画を作成していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	研修の開催について検索、紹介している。	スキル向上のため、施設外の研修にも積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	保護者と連絡ノートや会話を通して個別、集団別の計画作成を心がけている。	利用者様、保護者様と丁寧に面談を行い、課題をこなして目標達成していけるように、計画書に反映していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	アセスメント用紙を使い、細かく利用者様の状況を確認している。	相談支援員と連携を図りながら、アセスメントを行い、状況を把握していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	毎日の話し合いや子供達の様子に合わせて、立案を行っている。アイデアを指導員で出し合い、楽しめる内容を考えている。	週ごとに療育コンテンツを入れ替えたり、定期的に見直しや検討を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	担当を決めローテーションを組んでいる為、毎回新鮮さがあるプログラムである。	利用者様の伸ばしていきたい姿を話し合い、都度内容を工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	療育プログラムの他に外出支援や創作活動を行い、様々な経験ができるようにしています。	療育プログラムの他に外出支援や創作活動等を行い、様々な経験ができるようにしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	主に集団療育を行っていますが、一人一人の姿をよく見て、個別の対応も行っています。	集団での課題と一人一人の課題に合わせた療育を同時並行で行っていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	毎日の朝礼でその日の分担を全員で確認している。	今後も課題の目標や支援の仕方を共通理解する時間を設けて、確認していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	毎日フィードバックを行い、支援の仕方を話し合っている。	職員間でも適切な支援の仕方を互いに助言しあい、改善点を共有していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	個人の支援記録を用いて、検証・改善を行っている。	フィードバックで出た意見や様子を記録で残し、何か起きた際には、振り返って検証改善に繋がります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	定期的にモニタリングを行い、計画支援に反映している。	モニタリングで状況の変化を認識し、サービス計画の見直しをしていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	平日は3つの活動を組み合わせ、社会性や協調性、運動面の力がつくように支援を行っています。	今後も活動を組み合わせ、社会性や協調性、運動面の力がつくように支援を行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	管理者または児童発達支援管理責任者が参加している。	現場の職員からも情報提供をもらい、会議に参加していきます。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 2月26日

事業所名：音楽療育支援教室 どれみの森

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	送迎時に各学校の担任とその日の様子を聞いて対応している。	コロナ禍の中で連携がうすかったので、今後は機会を作って連携を密にしていきたい。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	医療的ケア児がいない。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	コロナ禍ということもあり、送迎時に玄関で情報共有をした。	今後は情報共有を行う話し合いの場をしっかりと設けていきたい。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5	相談支援事業所を通して行っていた。	今後も相談支援員を通したり、直接共有するなど、機会を設けていきたい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	研修に参加し、職員間で情報共有しています。	今後も研修に参加し、職員間で情報共有していきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	コロナが大分治まってきているので、交流をしていきたい。	様々な人たちと交流できる活動を企画したり、参加していきたいと思っている。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	今年度より再開しましたので、参加しました。	これからも積極的に参加し、学んだり、情報交換をしていきたい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時の玄関先等で子どもの様子を伝え、情報共有を行っている。	今後も密な情報交換や相談を行い、支援方法についても納得していただいた上で、支援を進めていきます。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	悩みのある保護者様には、モニタリング時や送迎時に支援を行っています。	職員もペアレントトレーニングの研修に参加し、保護者の方に対して適切な助言や対応を行えるように、技術を高めていきたい。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に不明な点が無いように説明や確認をしています。	今後も保護者様に不安が無いように説明や確認を丁寧にしていきます。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	職員同士情報を共有しながら、助言等を行っている。	子育てに関する相談や悩みをいつでも話せる雰囲気づくりに努めていきます。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	コロナ禍の影響もあり、出来ない。	今後、保護者様のニーズを把握し、話し合いの場を設けていきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	苦情・相談受付マニュアルを作成し、マニュアルに基づいて行っております。	苦情に関しては、相談窓口をお伝えし、迅速に誠実に対応できるように体制を整えていきます。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	月に1度の通信や日頃のInstagramで発信している。	通信やInstagramで、お子様の日頃の活動風景やエピソードをお伝えできるようにしていきます。
	35 個人情報に十分注意している	5	0	個人情報を使用する際は、保護者様の承諾を得ております。	今後も複数人で確認しながら、個人情報の公開には十分配慮していきます。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	帰りの送迎時や連絡帳、面談などで信頼関係づくりと、お子様の情報提供に努めています。	朝礼時やフィードバック時、申し送り書等で情報共有を行っている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	新型コロナウイルス感染等の影響もあり、開催しておりませんでした。	体験会やイベントを開催して、地域に開かれた事業所を目指していきたい。
非常時	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	各種対応マニュアルを用意し、研修の場を通して緊急時の対応について学んでいます。	研修の場を通して緊急時等の対応について学んでいます。掲示物や通信等で周知をしています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	火災、水害、地震の避難訓練も実施し、通信にて報告しています。	定期的に訓練を受け、緊急時にスムーズに対応できるようにしていきたい。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	虐待についての知識を深め、関わり方を再確認しています。	事例を基に虐待についての理解を深めていきたい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 2月26日

事業所名：音楽療育支援教室 どれみの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	5	保護者への説明はしているが、計画に記載していなかったため。今後は記載をいたします。	保護者への説明はしているが、計画に記載していなかったため。今後は記載をいたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	アレルギーの子には、定期的に保護者と連絡を取りあっている。	誤食がない様に、複数の職員で確認行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	その都度、ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止に努めています。	・今後も防げる事故やけがが起きないように、再発防止に努めています。